

## 2-4 下水汚泥を活用した汚泥肥料（緑水工業株式会社）

- 緑水工業株式会社は、新潟県下の下水道処理施設で発生する汚泥を活用し、汚泥肥料「かんとりースーパー緑水」を製造。

## ■ 国内資源の種類

下水汚泥

## ■ 使用作物

水稻、野菜、花き、  
山菜、果樹



「かんとりースーパー緑水」散布状況

## ■ 肥料の種類・肥料名称

- ・汚泥肥料（普通肥料）
- ・かんとりースーパー緑水(粉状)



## ■ 取組の経緯・内容・成果（見込み）

## 取組の経緯

- ・緑水工業株式会社は、新潟県内の浄水場・下水道施設等の運転維持管理を行うほか、下水道処理施設で発生する下水汚泥の受入を行っている。
- ・下水汚泥に含まれる窒素・リン酸等の肥料成分に着目し、循環型社会の構築を目指し、2003年から汚泥肥料の製造に取り組み。

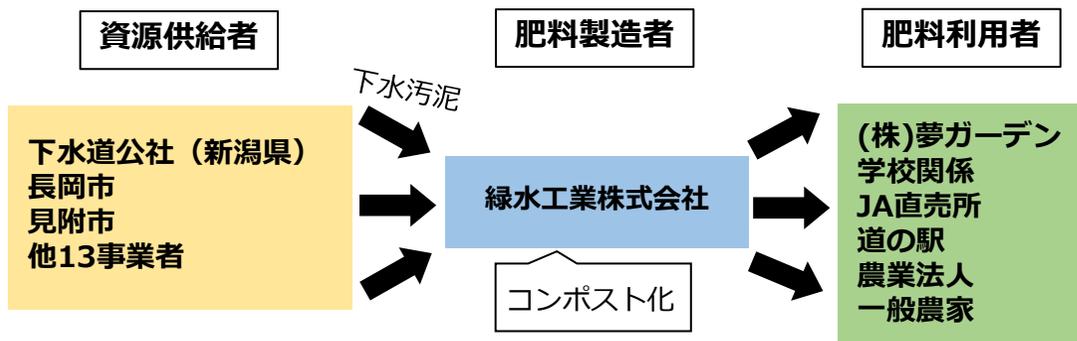
## 取組の内容

- ・2004年に、下水汚泥を90℃前後で発酵させた肥料「かんとりースーパー緑水」を販売開始。2012年に「(株)夢ガーデン」（障害者雇用促進法に基づく特例子会社）を設立し、肥料製造過程の攪拌作業や袋詰め作業を委託するほか、当該肥料を使用した野菜を生産。

## 成果（見込み）

- ・化学肥料と比較して、価格は安定し、また肥料コストの削減に繋がる。
- ・90℃前後で高温発酵し製造することで、原料に含まれる植物種子や雑菌が死滅することで、圃場などへの混入を防ぐ。

## ■ 主たる取組主体と肥料利用までの流れ



## ■ 今後の課題・取組

- ◆ 水稻農家への利用拡大に向けた周知活動。
- ◆ 肥効実証実験の蓄積と収量の安定化及び機能性のPR。
- ◆ 現在の製品を農家が扱いやすいようにするため、ペレット化施設を建設中。（2024年3月よりペレット化肥料販売予定）

【現在の販売製品(粉状)】 【ペレット化装置】 【ペレット化した製品】

